

63.6.1

頑張ってください

新任団員訓練を実施

町消防団



町消防団（小柴長通団長）では、5月22日に新任団員の基礎訓練を行いました。

この訓練は、イザというときに安全で機敏な行動がとれるようにと毎年実施しているもので、101人が参加。訓練に先立ち小柴団長は「それぞれが職場を持つ消防団員ではありますが、万一、災害が発生したときは、郷土『よこしば』を守るため一致団結しなければならぬ」とあいさつ。その後、消防署の指導のもとに、団員としての規律や消防ポンプの操作方法などを体得し、放水訓練を実施しました。訓練のあと団員は「見てみるとなかなかむずかしい。でも町のためですから頑張ります。」と応えてくれ、心強く感じました。

島田繁さんに叙勲



春の叙勲で、古川の島田繁さん（71）が勲六等瑞宝章の栄に欲しました。これは島田さんが県警察官として、戦前戦後の多難な時代を通して社会治安の維持に尽力された功績

が認められたものですが、とりわけ刑事畑が長かった島田さんは、「戦後の横芝事件等が一番の思い出・・・」と当時を回想し、喜びを語ってられました。

この人にまじく



婦人会長になられた

佐久間とくさん

（木戸台）

◇63年度の活動目標は

新生活運動の推進、婦人会組織の強化、美化運動、学習会の充実、明るい選挙の推進の5項目ですが、お年寄りをいたわり語り合う催しにも引き続き力を注いでまいります。

◇会員数や行事への参加者数の傾向は

会員は徐々にではありますが、増加の傾向にあります。しかし、お勤めや家事に追われ、誰もが暇が持てなくなっってしまったのが実情です。ので、人寄せにはどこも苦勞の時代です。

今年度は、そうした事態を十分踏まえて、いかに会活動を活性化していくか、他の役員さん方と智恵を出し合い、努力を重ねていく考えです。

◇その他に問題はありませんか

婦人会組織が消滅状態にある地区もありますので、何とか地元の協力を得て、全町が一本化した活動を展開できるようにしたいものです。

◇今年度特に力を注いでいくものは

中央の行事としては、20周年を迎える町民体育祭や文化祭行事での中身の充実を図っていきたく考えます。

また県の移動大会が、今年度は横芝町が会場となりますので、地元として万全を期さなくてはなりません。

◇最後に会活動に対する夢のようなものがあれば

代々の役員さんや会員の方々の努力で、今日まで成長を続けてきた横芝町婦人会の歴史、あゆみといったものを編集してみたいですね。

（現会員数 六〇六名）